



赤屋地区のイチオシ!

まちの タカラ

世代を越えて集う場へ ～赤屋をつなぐろこカフェ～



▲現在直接訪問することができないこども園ですが、園児の工作をお土産にするなど形を変え交流しています。

◀ろこカフェは、赤屋小学校の子どもたちの学習成果発表の場でもあり、学習のモチベーションを上げる一助となっています。

赤屋交流センターでは、毎月「ろこカフェ」が開かれています。赤屋地域で働いているさまざまな職種の人や、子どもから高齢者までの幅広い年代の地域の皆さんが交流できる場となること、お茶やお菓子を楽しみながらおしゃべりする気楽な場となることを目標としています。

カフェ名の由来は、交流センター、こども園、老人福祉センターの頭文字から。カフェが始まったのは令和元年6月で、当時の認定こども園赤屋の園長の「子どもたちが地域の人と交流できる機会を増やしたい」という思いがきっかけでした。その話を聞いた赤屋交流センターの職員から、カフェの形式にしてはどうかという提案があると、その後トントン拍子に計画が進み、数日ほどで初回のろこカフェ開催が決定していました。

赤屋地域にある認定こども園や小学校、JA、郵便局、交流センターなどを開催場所に、手作りのお菓子を用意し、地域ぐるみで協力して行っていたこのイベントですが、現在は感染症対策のため手作りのものはさけ、開催場所を交流センターに限定して行っています。よく参加しているという地域の人は「赤屋の人はみな顔なじみのようなもので、このカフェは顔を合わせるいい機会になっています」と話していました。

編集後記

▼4月より広報の担当をすることになりました。早速市内の満開の桜やチューリップの写真を取りに行ったのですが、皆様の目を引く写真を撮るのにどうしたら良いか悪戦苦闘しております。皆さんにとって親近感があり、読みやすい広報を作っていきたいと思しますので、取材の際はご協力をお願いします(け)

▼3年前に流行し始めた新型コロナウイルスやインフルエンザが第5類へ移行し、1つの区切りを迎えます。と同時に、私も3年間の広報活動を終えることになりました。安来の「今」をいかに伝えるか、試行錯誤の日々。そして、先輩方から受け継いだバトンを次へ渡します。携わっていただいた皆さんに感謝申し上げます(こ)

安来市の人口と世帯数 R5. 3.31現在

人口合計 / 36,138人
(男:17,394人 女:18,744人)
世帯数 / 14,220世帯



●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
●自治会宛の発送等については、地域振興課 (☎ 23-3067) までご連絡ください。